

2 かさんの「MFJ 北海道エンデューロ選手権第 1 戦栗丘大会」観戦レポート

“2022.5.15 栗丘ライディングパーク”



今年も北海道エンデューロの開幕戦となる「MFJ 北海道エンデューロ選手権 第 1 戦 ヒーローレーシング大会」に行ってきました。

場所は岩見沢市栗沢町にある”栗丘ライディングパーク”。昨年 10 月の最終戦と同じ場所でした。過去 2 年間この時期はコロナで開催できるのかどうか主催者側もヒヤヒヤしていた時期。今年は連休後に心配されていた爆発的な感染もなく、なんとか普通のペースでレース開催ができるようになりました。うれしい限りです。

とはいえ本当に大丈夫なのか？と心配されている方々もいるのではないかと思います。主催者側は選手やスタッフの検温、マスク着用などのコロナ対策を徹底しながら万全の体制でレースを運営されていたことをお伝えしておきます。感謝！！

さて、レースを楽しむためにも、ここで本選手権大会のルール（改正部分を含めて）など大事な部分をさらいしておきたいと思います！！

<2022 北海道エンデューロ選手権シリーズ特別競技規則より>

① 開催クラス

公認クラスは IA、IB、NA。承認クラスは NB、B（中級）、C（初級）のほか、昨年までの市販車クラスがなくなり、入門者を対象とした「D クラス」が新設されました

② 公認クラスの昇格規定

2)開催クラス・出場資格

- | | |
|----------------|-----------------------------|
| ①IA クラス | 当該年度有効なエンデューロ国際 A 級ライセンス所持者 |
| ②IB クラス | 当該年度有効なエンデューロ国際 B 級ライセンス所持者 |
| ③NA クラス | 当該年度有効なエンデューロ国内 A 級ライセンス所持者 |
| ③NB クラス | 当該年度有効なエンデューロ国内 B 級ライセンス所持者 |
| ④B クラス (中級クラス) | 下記承認クラス出場資格 |
| ⑤C クラス (初級クラス) | 下記承認クラス出場資格 |
| ⑥D クラス (入門クラス) | 下記承認クラス出場資格 |
- ※前年度の市販車クラスにあった国産市販車限定の条件を廃止

※承認クラス出場資格

当該年度有効な MFJ 競技ライセンス (種目問わず)、ビットクルーライセンス (運転免許証を持っていることを条件とするタイプ A)、エンジョイ会員証、スポーツ安全保険加入を選択した競技役員ライセンス所持者

※市販車エキスパートクラスは廃止とする。

4. 2022 年度北海道 ED の昇格規定

- NB クラス ⇒ NA クラスの昇格基準
北海道 ED NB クラスランキング 1~6 位までの選手は NA クラスに自動昇格する。
※同点者のある場合は上記人数を超えることができる。
- NA クラス ⇒ IB クラスの昇格基準
北海道 ED NA クラスランキング 1~3 位までの選手は IB クラスに申請昇格できる権利が与えられる。
※同点者のある場合は上記人数を超えることができる。
- IB クラス ⇒ IA クラスの昇格基準
北海道 ED シリーズチャンピオンは IA クラスに申請昇格できる権利が与えられる。

公認クラスには昇格規定があり、NB から NA への昇格は上位 6 名で自動昇格。NA から IB への昇格は上位 3 名で申請昇格の権利取得。IB から IA への昇格は上位 1 名で申請昇格の権利取得と規定されています。NB から NA への昇格は手続きなしで OK ですが、NA から IB・IB から IA への昇格は権利が取得できるだけで、申請しなければまた同じクラスのままという規定になっているところがミソですね。

③ シリーズのポイントランキング

次に一番気になるシリーズ戦のポイントランキングの仕組みです。

8. 2022 年北海道 ED シリーズランキング

1)ポイント集計

- IB・NA・NB クラスは全日本選手権併催を含め、6 大会 7 ラウンド中上位 5 ラウンドを集計する有効ポイント制とする。
- IA クラスについても全日本選手権北海道大会を含む 7 ラウンド中上位 5 ラウンドを集計する。ランキング表彰は道内在住の IA ライダーを対象とする。
- B・C・市販車クラスは全日本選手権併催大会を含まない 5 大会 5 ラウンドを集計する。
- 中止により大会数が減った場合、有効ポイントのラウンド数を変更する場合がある。
- 各クラスの競技成立台数は 2 台以上とする。
- 完走者にのみポイントが与えられる。(完走者は 6. 8) に定義される)
- ポイントスケールは下記のとおりとする。

順位	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	6 位	7 位	8 位	9 位	10 位	11 位	12 位	13 位	14 位	15 位
得点	25	20	16	13	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1

公認クラスは 7 ラウンド中上位 5 ラウンド分を集計、承認クラスは全日本併催大会を含まない 5 ラウンド分を集計し、年間ポイントの多い順からランキングが決まる仕組みになっています。

各クラスとも次期昇格を狙うなら、より多くの大会に出場した方が昇格出来る可能性が高くなりますね！！

<第 1 戦 ヒーローレーシング大会>

さてそれでは早速、今回の栗丘ライディングパークで開催されたレースの状況をお伝えしたいと思います。

今レースに出場した台数は総数 50 台とやや少なめでした。(ちなみに昨年の最終戦の参加台数は 43 台でした。) 出場台数が少ないのは時期的なものか？開催場所的なものなのか？それとも別な理由があるのか？理由は良く分かりませんが、いつも会場でお会いできる方々が、だんだん減っていくのは寂しい感じがします。

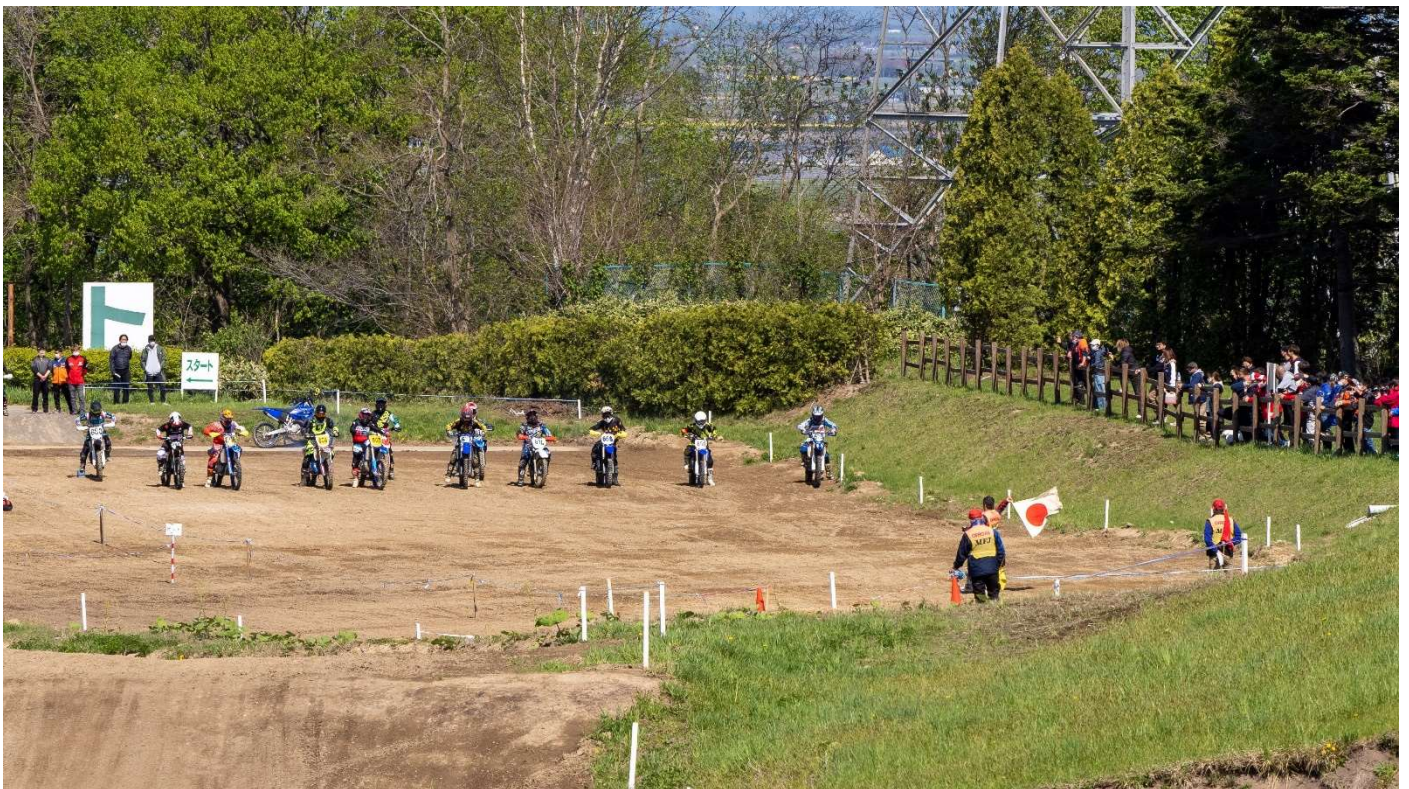
公認クラスの内訳は 37 台で IA クラスは 1 台。IB クラスは 9 台。NA クラスは 5 台。NB クラスは 22 台でした。

このほか B (中級)・C (初級)・D (入門) による承認クラスは 13 台と少な目でした。

天気は晴天で路面も程よく湿った感じの絶好のレースコンディション。

撮影のポイント探しで 1 周回ってみたのですが、ところどころ事故防止のために、ジャンプやスピードを抑えるためのテープが張られており、主催者の安全なレース運営のための気配りが感じられました。ヌタ場や轍等の難所もなく、いつもと同じく一周約 5 分程度でのスピード勝負のレース展開になりそうな感じでした。

レースは 予定通り 9 時に承認クラスの B・C・D クラスの 90 分レースがスタートし、11 時から公認クラスの IB・NA・NB クラスによる 150 分レースがスタートしました。



<レースの結果>

● 総合優勝は IB クラスの 116 伊藤智耶選手！！



昨年までの宿敵“馬場崇行選手が”IA クラスに昇格し、今年は是が非でも IB クラスのトップを狙いたい 116 伊藤智耶選手。スピードレースにはめっぽう強く、モトクロスコースをベースとした栗丘のコースは得意中の得意のようで、今回の IB クラスでは強豪の 106 田崎一磨選手（2 位）や 150 北谷智実選手（3 位）らに 3 分近い差をつけて優勝。しかも参加者全員の中でもトップの成績で総合優勝しました。



2 位 106 田崎選手



3 位 150 北谷選手

某トレーナーからは「後半は遊びながら走っていたみたいだった…」というコメントもあり、余裕の勝利だったのかな？という感じがしないでもないですが、第 2 戦以降で 106 田崎一磨選手や 150 北谷選手、そしてこの春から IB クラスに昇格してきた元気のいい 135 菊池領選手や 136 松山哲也選手、137 伊原巧選手らと今後どんなレースを繰り広げていくのかとても楽しみです！！

●NA クラスは 330 佐藤雄一選手がダントツの速さで優勝！！



出場台数が 5 台と少ないながらも、このクラスでは昨年 NB のチャンピオンから昇格したばかりの 330 佐藤雄一選手が、33 周を回り優勝しました。総合成績でも 3 番手と IB や NA クラス 2 番手以降に 1 周以上差をつけるダントツの速さです。昨年のレースでも今年一緒に NA に昇格した 329 逸見将人選手や 331 吾田誠選手らと張り合っていたので、このまま順調に出場回数をこなしてポイントを積み重ねれば、難なく IB になってしまいそ

うな予感がしますね。

また 331 吾田誠選手も乗り換えたばかりの慣れない YZ125 で準優勝。総合成績でも 9 番手でした。

3 位は 333 嵐口哲也選手。この選手も 330 佐藤選手や 331 吾田選手と一緒に、今年 NA に昇格したライダーの一人です。長野から仕事で北海道に来ていて、秋ころまでいる予定だとか。皆さん今後、マシントラブルや怪我に気を付けて頑張ってくださいね！！



2 位 331 吾田選手



3 位 嵐口選手

●激戦の NB クラスは初出場の 446 羽田真吾選手が優勝！！

出場台数が 22 台と一番多かった NB クラスは 初出場の 446 羽田真吾選手が総合 11 位とダントツの速さで優勝しました。2 位の 453 中島英二選手も総合 12 位に入る好成績。3 位は 408 齋藤佑輔選手でした。





2 位 453 中島選手



3 位 408 齋藤選手

●B クラス

B クラスは 607 荻野正彦選手が優勝。 2 位は 600 成田清吉選手。 3 位は 608 佐竹孝彦選手でした。



優勝 607 荻野選手



2 位 600 成田選手



3 位 608 佐竹選手

●C クラス

C クラスは 651 太田祐介選手が優勝。 2 位は 680 上野優太選手。

3 位は 677 吉田侑平選手でした。



●D クラス

今年から新設された D クラスはエントリーが 1 台しかなく残念ながら競技は成立しませんでした。出場した 703 高橋エリカ選手はいつものカメラ目線で無事完走しトロフィーをもらって、嬉しそうにしていました(^^) /



■表彰式の模様

●IA クラス



(1 位 30 馬場崇行選手)



(703 高橋選手)

●IB クラス (左から 1 位～6 位)



116 伊藤選手 106 田崎選手 150 北谷選手 152 奥谷選手 135 菊池選手 157 砂田選手

●NA クラス (左から 1 位～3 位)



330 佐藤雄一選手 331 吾田誠選手 333 嵐口哲也選手

●B クラス (左から 1 位～2 位)



607 荻野正彦選手 600 成田清吉選手

●NB クラス (左から 1 位～10 位)



446 羽田真吾選手 408 齋藤佑輔選手 413 石原信選手 460 葛西哲也選手 455 岡部竜介選手
453 中島英二選手 430 高見智代選手 458 梅田正人選手 419 村上卓弥選手

●C クラス (左から 1 位～3 位)



651 太田祐介選手 680 上野優太選手 677 吉田侑平選手

●車検の様子



●受付の様子

コロナ蔓延防止のため全員マスク着用が義務づけられ、MFJ 事務局により選手の健康状態がチェックされます。



●開会式の様子



■第2戦はルスツ大会！！

次のレースは6月5日（土）にルスツのBIGBEARで開催されます。皆さん、次回も是非会場でお会いしましょう（^^）

BY 2 か

●2かのフォトギャラリー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

<https://photos.app.goo.gl/fpuwUE33MigG7qKE7>

●リザルト・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

<https://www.mfj.or.jp/wp-content/uploads/2022/01/hokkaido-2022ED-R1-result0515.pdf>

●MFJ 北海道 ED ポイントランキング・・・・・・・・・・・・・・・・

<https://www.mfj.or.jp/wp-content/uploads/2022/01/hokkaido-2022EDRanking0515.pdf>

●2022 北海道エンデューロ選手権シリーズ第2戦 ルスツ大会情報・・・・・・・・

<https://www.mfj.or.jp/local/2022-ed-hokkaido/rd2/>